

バリプログラムの感想

空港に着いたとき、空港で働いてる人が荷物を勝手に持ってきて100mぐらい運んでくれたんですが、その後すぐチップと言われ千円といわれました。運よく1000円札ももってなく100円だましかなかったので400円しかないと言うと、最初はしつこくもっとといわれましたが帰ってくれました。でもよくよく考えると勝手に持って言ったくせにチップを払った自分に腹がたったので、これからバリ島で気おつけようと浮かれ気分から冷静になりました。あと2人も同じ目にあったので気おつけたほうがいいと思います。NOと大きい声で言えば帰るらしいです。持とうとするとNOというべきらしいです。フリータイムが結構多く、ウブドから出るには原付は怖いしTAXIはぼったかれると怖いので動けないので今回13日間でしたが、もう3日間なくて10日間ぐらいでいいなとも思いました。



子供たちは村で踊りをしているみたいです。言葉は話せないけれどもそれにより表現は人よりも優れているとのこと。男の子も女の子もとてもかっこよく、きれいになってました。化粧をした後の表情は小学生や中学生には見えないような、ほんとと大人っぽい雰囲気でした。写真を撮るときは絶対きめ顔になるのでおもしろかったです。

カレーはあまり好評ではなかったので、やめたほうがいいと思います。やさしい子達だったので微妙な顔をしながらも最後まで食べてくれる子は多かったです。何人かは外に捨てに行きました。喜んでもらえると思ったので、ちょっと残念でした。

先生たちがとても気さくな方でいろいろ話しをしました。みんな明るく表情が豊かなので、いろいろと表情で気持ちがわかるんだと思います。名前はその子の特徴などがあだ名になるらしいです。教室はこんな感じです。算数の勉強をしていました。子供たちの年はばらばらです！

私も手話をして話すことが出来ないのですが、写真に興味を持ってくださいました。もって行ったデジカメにとっても興味身心で、私が今まで撮った日本や他の海外も写真にとっても喜んでみていました。本と自分の家や 犬、部屋や町並みなど自分にとっては普通の生活の写真に興味していました。写真にして持って行ってればよかったと思いました。それによって少し心を開いてくれたのか、笑顔で接してくれました。手話もちよっとした単語なら表現できることもわかりました。ほんといい経験になったと思います。

ばりのケチャダンスを見ました。最初ケチャケチャしか言わないのでなんだこれかと思いました。1時間ぐらいある中で物語になってました。なんかおもしろかったです。途中で見える夕日がとてもきれいでした。夕日のほうに途中夢中になってました。



私たちのガイドをしてくれたウタマさんです。ほんと日本が上手で物知りで、やさしくいろいろ教えてもらいました。飲みに行ったりもしてとても仲良くなりました。ウタマさんのおかげで楽しく過ごせました！ありがとうございます。